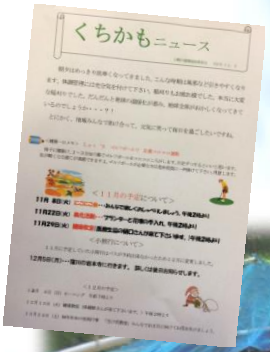
地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介

見～つけた！

地域のいきいき活動

Vol.4

2016年11月発行



地域の繋がりを大切にしたい…

話しとぎ活動で深まる顔と顔の繋がり

今回の「地域のいきいき活動」は、口鴨川地区健康福祉委員会の「話しとぎ活動」をご紹介します。この活動の始まりは、平成15年に「安心して暮らせる口鴨川」をスローガンとして設立した地区社協時代からで、地区社協が解散した現在でも、口鴨川地区健康福祉委員会の活動として受け継がれています。活動内容は、健康福祉委員会が毎月発行する『くちかもニュース』を全世帯に直接手渡しながら、高齢者との会話を行う（話しとぎ）もので、会話をとおして安否確認にもなり、地域の繋がりを深めているものです。

今回、同行させてもらったお宅でも、「寒くなったね。変わったことはないかね。」と、体調の変化などを気にかけながら笑顔で会話をされており、チラシを受け取った男性も、「いつもありがとう。」と、笑顔で受け取られていました。この他にも、年に4回ほど開催しているモーニング（100円）や、1時間500円で生活支援を提供する有償ボランティアの仕組みがあります。

口鴨川地区でも後継者不足による将来的な不安もあるようですが、「困ったときはお互い様。自分たちも手助けが必要となった時に困らないよう、安心して暮らせる口鴨川を目指しています。」と、笑顔いっぱいに話されました。

口鴨川地区健康福祉委員会世話人の皆さん

発行：四万十市生活支援等サービス体制整備推進会議（事務局）四万十市保健介護課介護保険係　☎34-1165